

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 2 | 今年度計画している小学校の運動会見学や夏祭りの開催が実現して、地域の人にグループホームをより知ってもらえることを期待する。 | 入所者、職員が地域の方々と積極的に接する場を提供し、施設内のことを理解していただく機会を増やしていく。 | グループホームに足を運んでいただける行事計画を実施。また地域で行われるイベント情報を集め入所者や職員が参加させていただけるよう地域の方々と接する機会を作る。 | 3ヶ月 |
| 2 | 4 | 開催回数を増やし、多くの意見を集めてサービスの質の向上に活用していくことが望まれる。 | 入所者、職員、地域の方々全員で行事を作り上げることのできる関係を実現する。 | 行事を行うたび、参加者の感想・意見を取り入れ、外部との交流のある行事では地域の意見を取り入れ職員会議で検討し、改善していく。 | 3ヶ月 |
| 3 | 10 | 家族会の開催が実現し、家族からの意見や要望を運営に反映できることを期待する。 | 家族会の開催。意見、要望を聞き入れ、職員会議で検討し、実現する。 | 家族会開催する意義・必要性を職員全員が知り、職員も交えた家族会が開催できるよう、日時・内容を検討し実施する。 | 6ヶ月 |
| 4 | 35 | 火災だけでなく地震、など災害によっても避難の形態は違うので訓練あらゆる想定を考えたい。非難には地域の協力が欠かせないので、更なる協力体制を期待する。 | あらゆる災害を対象とした避難訓練を地域の参加・協力のもと、定期的に行う。 | 災害別のマニュアルを職員用、地域用に作成し、マニュアルを元に災害訓練を定期的実施する。訓練ごとに困難・問題点を検討し、対策を次回訓練に活かす。 | 6ヶ月 |
| 5 | 36 | 制服は介護するものとされるものを際立たせる雰囲気になりがちである。被介護者の人格の尊重や誇りを損ねない支援とは何か、今一度振り返り検討することが望まれる。 | 入所者との介護者との境界線を緩和し、入所者の人格を守れるよう支援を行う。 | 職員会議で制服に関する意見を、あらためて検討し、入所者の人格の尊重と誇りについて意見と方針をまとめる。 | 3ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。